

現代の教師に求められる情報リテラシ

中村 匡秀

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

〒630-0101 奈良県生駒市高山町 8916-5

masa-n@is.aist-nara.ac.jp

Tel 0743-72-5312, Fax 0743-72-5319

本講演では、IT技術を情報教育にどう生かすかについて、最近の動向、筆者の経験から概説する。以下のアウトラインに沿って説明を行う。

1. 背景・情報リテラシとは

最初に、情報教育を必要とする社会的背景を概観し、実際の情報教育には何が求められているかについて、筆者自身の考えを述べる。小・中・高等教育における情報リテラシのねらいと位置づけ、教育現場の現状などについて概観する。

2. ITを用いた情報リテラシ教育

筆者の前任地である大阪大学の情報リテラシ科目「情報活用基礎」での経験を元に、高等教育における情報リテラシ教育を教育的側面から概説する。具体的には、情報の受信、情報の加工、情報の発信のそれぞれについて、内容の紹介、講義において重要と思われる点、鍵となるIT技術について述べる。

3. 情報教育システム

情報教育には情報教育システムが欠かせない。ここでは、大阪大学サイバーメディアセンターの情報教育システムを紹介し、情報教育に求められるシステム機能をシステム・管理的側面から考察する。

4. 最近の流行

最近の情報教育における主要なキーワード、トピックの紹介を行う。主にe-LearningやCALLシステムなどを紹介する。

5. 最後に

本講演の準備にあたり多大なご尽力を頂いた大阪芸術大学短期大学部・武村泰宏先生に深謝いたします。なお、この講演のスライド、および、関連資料は以下のWebサイトにて公開予定である。ご興味のある方は参照されたい。

<http://se.aist-nara.ac.jp/~masa-n/misc/it-forum21/nagoya/>